

# 高松城の水攻めと

# 地域社会



男新国方画「赤松之城水責之図」(部分)(1860年)、東京都立中央図書館所蔵。

「高松城の水攻め」といえば、城主清水宗治の奮闘ぶりや羽柴秀吉の奇策、そしてそのさなかに起こった「本能寺の変」と劇的な出来事を中心地となりました。備中高松城は備中地域の人々にとつて、歴史的な出来事を身近に感じられる場所でもあります。今回は「地域史の現場」という目線で考察します。

講師

元放送大学岡山学習センター客員教授

ひさののぶよし

久野 修義 氏



岡山大学名誉教授。中世寺院研究から岡山県中世地域史まで幅広い研究を行なう。哲多町史の編纂に関わったほか県内の自治体史編纂と執筆にあたる。主な著書『日本中世の寺院と社会』(塙書房)、『重源と栄西』(山川出版社)。

日時

10月19日 土

13時30分～(受付13時～)

場所

新見市役所 南庁舎 1階会議室1C  
(新見市新見310-3)

募集定員 50名

申込方法

講座名「高松城の水攻めと地域社会」、氏名、電話番号を、電話でお申込みください。

申込締切

10月10日(木)